

- 共通テスト説明会
- 情報誌『栄冠をめざして』VOL2配布
- 7月模試の結果(1・2・3年生)
- 進路資料室(赤本部屋)の利用について

「寄り道のススメ」

国語科 福島万葉子

新宿高校に赴任して半年が過ぎました。新宿高校の夏は、夏期講習に始まり、臨海教室、部活動合宿と、例年以上に忙しかったです。そこへきて持病であるぎっくり腰が再発し、私は大好きな夏の大半を足を引きずって過ごす羽目になりました。しかし先日、ようやく腰痛も収まってきたということで、リハビリもかねて江の島に行ってみました。

みなさんは、江の島に行ったら何をしますか？有名なのは、「とびっちょ」のシラス丼や「eggs' n Things」のパンケーキ。「あさひ本店」のたこせんべいはインスタ映えしますし、江の島神社もはずせませんね。私も江の島神社には必ずお参りに行きます。ここで、あまりネットには載っていないグルメとして一つ紹介するならば、私のおススメは「江の島ホテル」の1階にあるカフェのコーヒースフトクリームです。先日も、神社にお参りした後にそのソフトを食べようと思って江の島に行ったのですが、ふと何の気なしに横道に入ったところ、思わず夕日の絶景スポットを発見したのです。知っている人もいるかもしれませんが、これを読んでいる皆さんにこっそりお教えしますね。江の島神社から下って行くと、「岩本楼」を右に曲がる細い道があります。そこを進んでいくと小さな浜に出ることができます。駐車場ほどの小さなスペースなのですが、そこで思わず陽が沈むまで過ごしてしまいました。その日は結局、カフェの閉店時間を過ぎてしまい、コーヒースフトは食べられませんでした。目的は達成できなかったけれども、ちょっと得たような気分になったという話です。

目的を定めて一直線に進んでいくことは一見無駄がないようにも思えます。現に受験においては、それは非常に有効な手段です。しかし、作家の竹内寛子さんの評論を読んでいて、文章に次のような一文に共感しましたので、あえて皆さんに紹介します。「文章に対して、その中から何かを得ようとして読む場合と、さし当って小さな目的を持たず、文章から聞こえてくるものだけに聞き入ろうとする場合とを較べてみると、小さくても発見に類するようなことは、無目的のことのほうに起こりやすい。」希望の大学に合格した後、皆さんは何を学び、どう生きていくのでしょうか。

高校生の時、私は自分が教師になるなんて思ってもいませんでした。しかし大学生の時に、さして親しくもない先輩から押し付けられた高額アルバイトで看護学校の国語の授業を持ったことが教師になった最初のきっかけかもしれません。アルバイトの目的はお金だったはずですが、結構面白いかも、意外と向いているかも、なんて勘違いをしたことで進路選択の一つとして考えるようになったのです。

高校生のときの未熟な進路選択で人生は決まらないことの方が多い気がします。「受験に使う／使わない」「今の自分には必要／必要ない」「得だから／損だから」。そういう物差しで考えるのではなく、一見目的とは関係なさそうな寄り道の中から、思いがけない発見や感動、進路を決定づける出来事に出会えることもあります。さらに言えば、様々な活動や学びの中で、可能性を狭めずに幅広く経験する中で培われるものを「知性」と呼ぶのかもしれませんが。

○共通テスト説明会

9月6日(水) 共通テスト説明会を実施しました。『受験案内』を配布し、今後の出願に向けての流れや志願票の書き方などの説明がありました。

共通テストに関する今後の予定です。前号と内容はほぼ同じです。

9月25日(月) 「志願票」発送(学校一括)

高校生は学校からの一括出願で、個人での出願はできません。

10月25日(水) までに 「確認はがき」到着

「確認はがき」は「志願票」の記載が正確に登録されているかを確認するためのものです。「志願票」のコピーが必要な理由です。

12月中旬 「受験票」到着

受験会場が分かります。例年、4～5会場に分かれています。

○情報誌『栄冠めざして』VOL2 配布

河合塾の情報誌『栄冠めざして』VOL2を、近日中に全員へ配布します(配布日は学年毎に異なります)。この情報誌には3年生が受験する2024年度入試の受験科目が載っています。

2年生は、新教育課程での入試のため、受験科目が変わりますが、次年度科目選択決定もあるので、志望大学の受験科目を確認してみましょう。2025年度以降の入試(1、2年生が対象)の受験科目については、各大学のHPや予備校などのHP(<https://benesse-hs.jp/2025kamoku>がよくまとまっています)などで確認しましょう。

○7月模試の結果(1・2・3年生)

夏休み前に受験した進研模試(1、2年生)、駿台atama+共通テスト模試(3年生)の結果が戻ってきました。各学年の状況と、今後心がけるべきことをまとめてみました。

・1年生

3教科総合の平均偏差値は例年並みでした。また、教科によって上位層に多寡があったり、基礎問題の取りこぼしが見られました。前号と同じことを書きますが、今、学習しているのは2年後の大学受験で土台となる基礎の部分です。2年後、どんな進路でも選べる

ように(≒弱点科目があるために進みたい道へ行けないことがないように)、模試の見直しをしましょう。また、日頃から、基本的な事項をミスなく丁寧に解ききることを意識しましょう。

・2年生

3教科総合の平均偏差値は例年よりやや高めです。自信を持って下さい!教科別では英語の文法・語法が高いようです。但し、各教科、分野によっては弱点もあります。各自、模試の見直しをしっかりと行い、演習量を増やすなどして、弱点を克服し、基礎学力を固めましょう。基礎学力を固めるのは2年生のうちです。

・3年生

3年生が受験した駿台atama+共通テスト模試は、受験者に浪人生の割合が多いこと、現役は全国の有名進学校が参加していることが特徴です。そのため、志望校の合否判定や偏差値は、厳しい結果が出ている人もいるでしょう。しかし、これにひるむのではなく、まだ伸びしろが多い(強化すべき教科・分野が分かって良かった)と前向きに捉えて、学習を進めましょう。例年、この模試でE判定から合格した先輩がいることを覚えておいてください。

○進路資料室(赤本部屋)の利用について

赤本は、国公立大学が進路室前廊下、私立大学が進路室赤本部屋にあります。今まで、同じ大学の赤本が廊下にあったり、赤本部屋にあたりした状態を整理しました。廊下に国公立大学の赤本があるのは、たまたま、本棚の収容量が見合ったからで、特に意図はないので誤解しないで下さい。

間もなく赤本の最新版(2024年度入試用)が入荷します。こちらは、全て(国公立大学・私立大学ともに)赤本部屋の奥の棚上に置く予定です。

赤本部屋内には、赤本以外に、大学入試問題正解(年度・科目ごとに全国の大学入試問題を集めたもの)、各予備校などの模試の問題(全国模試の他に、冠模試の問題)があります。赤本と同様に借りることができますので、是非、利用してください。

赤本など貸し出しのルール(NO.85とほぼ同じ)

廊下或いは赤本部屋内の貸出簿に必要事項を記入して借りてください。冊数は特に制限はありませんが、みんなが使うものなので、常識の範囲でお願いします。期間は1週間が目安、最新版は2日です。12月になると冊数、貸出期間を制限します。改めて連絡します。

商売は人助け

元カルビーアメリカ社社長、前米国森永製菓総代表兼社長、会長

31 回生 安永 正法

オーナー社長の朝は忙しい。

全国各地の工場と連絡を取り、昨日、本日の生産状況や、品質の状況の確認を怠らない。

問題があった日などは、激しい電話でのやり取りが、昼過ぎまで続くこともしばしばある。

私はいつも通り、出勤し所属の営業本部のデスクについた。当時は営業の販促企画などをやる部署に配属されていた。秘書室から連絡があり、社長が呼びよせのことで、「?? 何だろう」仕方なく社長室のドアをノックした。中では案の定、社長が電話で何やら騒がしく話している。返事はないが、恐る恐るドアを開け中に入った。室内の応接椅子に座るよにとのことで、そこへ座ってしばらく社長の電話のやり取りに耳を傾けていた。

しばらくするとテレビをつけろと、テレビをつけたら、選抜甲子園をやっているから応援しろという。ちょうど地元広島商業高校が、準決勝かベスト8くらいの試合をやっていた。しばらく甲子園を応援していると、秘書が社長用の昼の食事をもって入ってきた。まだまだ、電話での各地への指示は終わりそうにない。社長は指で私に食事を食べろという指示である。これは社長の食事ではと手ぶりでしましたが、早く食べろというので、私は、やばいなあと思いながら、社長室で社長用の昼飯を食べていた。食事も終わり、甲子園も終わり広島商業が勝ち、ホット一息ついていたら、社長が目の前の椅子に移動してきた。「安永さん、人助けはだめですか?と突然」私はあわてて、「いえ、人助けは良いことですよ。だめじゃないです。」と答えると、にっこり笑って、「あんたも、人助けせにゃ下がってよらしい。」となった。

「いやーこれまでの2、3時間は何だったんだろうか?しかし、これは大変なことになったなあ。人助けか。そこからは日々自分の中で禅問答のような日々を過ごした。学校を出て、社会人まもないころの自分は、まだまだ人生で、会社という組織で何をすべきなのか?何が組織にとって良いことなのか?わからないで過ごしていたので、良い時間となったことは確かだと、思いながら過ごしていると、ふと本当に人助けすると、助けていただいた方はみな感謝し、ありがとうと言うよなあと。ボランティア活動は時に善意の押し付けだったり、自分がやりたい時だけやって、継続してやってなかったりだなあと、「そうか、商売は、人助けなのか、お客様からありがとうを集めることなのか。それならば、私でもできることは沢山ありそうだ!」私はすごい勇気を頂いたような気がした。

それからほどなくして、私は、海外でも人助けはできるような気がすると思い、社長にその旨を告げ、拠点を北米に移し、北米でのビジネスをスタートさせた。しかしながら、そうそう簡単に、外国人から、美味しかった。ありがとう、などとは言ってもらえない、時にはこちらは「えびせん」売っているのに、「うーんこれ、テクスチャーはいいけど、エビが入ってなかったらいいのにねえ!」とか。それは結構ショックだった。それでも何とか人助けはできないものか、それから、商品開発の日々が続き、ようやくたどり着いたのが、「SNAPE CRISPS」というエンドウ豆を原料にした緑のスナックだった。これは、これまであまりスナックやチップスを食べないような、米国の女性の方々から美味しい、また食

べたいと、ありがとうが集まりだした。これだ、これで行こう。そこからいろいろ試行錯誤はあったものの、小さな実験所から、大きな工場建設に至り、商品も全米展開できるようになった。

気が付けば、あれから25年ほどの月日がたった。社長のお陰で、人生迷わず、社会人の道を外れず、よくここまで来たなあと。その後はこの活動を個人のコンサル会社を通じて、多くの方々へお伝えしていくと決め、そうしていると、大手の菓子メーカーから北米でのキャンディーの仕事を頼まれ、キャンディーでも多くのありがとうが集められるようになり、このほど、北米の総代表を退任させていただいた。

「商売は人助け」今もその遺訓は、私の中で生き続けている。良い人生を送らせていただいていると感謝の日々である。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

※今後の予定（進路関係）

9月15日（金）共通テスト志願票提出〆切→以後、担任・進路部による点検

25日（月）共通テスト志願票一括発送

10月8日（日）実力テスト..3年生、第2回記述模試（駿台ベネッセ）、校内実施

11日（水）大学分野別模擬授業..2年生

25日（水）までに 共通テスト志願票確認はがき到着

29日（日）実力テスト..3年生、第3回全統記述模試（河合塾）、校内実施